

木馬会会報(第17号)

エリザベス女王杯特集

～木馬たちの予走(エリザベス女王杯編)～

予走者 TP

先週はやっとプラス決算。調子が上向いてきました。それにしてもNブライアンは強かった。やはり3000mというのはごまかしのきかない距離。上位人気5頭がそのまま1～5着。WフィールズとSマンにはやはり距離が長かったのだろう。しかしこの2頭も中距離ならGⅡ級の力はある。

エリザベス女王杯

◎…ヒシアマゾン ○…チョウカイキャロル ▲…アグネスパレード

△…ゴールデンジャック、メモリージャスパー ×…オグリローマン

…予走者の屁理屈…

今年のエリザベス女王杯はヒシアマゾンVSオークス上位組の図式が崩れまい。これまでの秋の重賞を見れば夏の上昇馬がいらないことに気付く。それは今年の夏が記録的な猛暑だったからだ。夏に使われた馬はその疲れが今出ている。で、出走馬を見てみてもパツとしたのはいない。だから、穴人気になりそうな3頭、ジョウノバタフライ、ジンシリウス、ヤマニンリコールについてみるだけで十分だ。まず、Jバタフライ。この馬が穴人気になるのは前走クイーンS2着と血統面からだが、クイーンSを振り返ってみよう。このレース、重賞出走馬は11頭中4頭。ヒシアマゾンは置いといて、3頭のうち2頭は休み明け、あと1頭マイネマジックは前走900万を勝ったばかり。つまり900万を勝つ力があれば()対しても全然おかしくなかったのだ。実際9頭はそのレベルの馬だった。幾ら距離伸びていい血統とはいえ、6週間で900万の馬がGⅡを勝てるレベルまで成長するわけがない。次にジンシリウス。この馬はこのところ2連勝で、前走も1500万を楽勝している。また、ナイスネイチャの妹という事で穴人気になりそうだが、忘れちゃいけないのは、前走は中京のハンデ戦だったということ。しかも父がリードワンダーという極め付けの平坦血統。デビュー以来休みなく使われているローテーションも多いに気になる。この馬は大崩れするだろう。続いてYリコール。私は前走穴に押したのだが、惜しくも5着。初芝を考えれば上積みはありそうだが、どうも善戦の域はでそうもない。

さて、次に人気馬はどうかと言うことになる。私の予走が堅いのは実はここに理由があるのだ。私だってできれば穴を狙ってみたい。しかし、今回のレースは検討すればするほどそれができぬのだからしょうがない。まずTキャロル。オークス馬はこのところ不調だが、それは3年連続休み明けだからだ。けして春に力を使い果たしたからではない。中間も順調に攻めを消化しており体調に問題はない。実績を素直に尊重する。(ただし、く

どいようだがヒシアマゾンが勝つ時は連勝の1番人気は連れてこない、という私の発見した法則がある) Aパレードも前走で見事に復活。距離延長もこの馬には有利。Gジャックもここ目標に使われており、今度が完調。中間の調教タイムも文句のつけようがない。今度は極端なレースをするはずで一発まで有り得る。Mジャスパーは前走の調教時も素晴らしい動きをしていたが、やはり太かった。一度使われて変わり身があるだろう。と、オークス上位馬が順調にきているのだ。1500万の馬が太刀打ちできるわけがない。

さらにとどめを刺させていただこう。エイザベスは例年荒れるが、それには条件が2つある。1つに、レベルが低いレースになること。その理由は毎年オークス上位馬(5着以内)の出走がすくないからである。出ても2頭。しかもそのうち当のオークス馬は休み明けときたもんだ。特にあのサンドピアリスが勝ったレースはひどかった。まさに20頭立ての900万特別。しかも実績で抜けていたシャダイカグラ(ライトカラーは完璧に調子を崩していた)が故障発生と踏んだり蹴ったり。今年はオークス上位馬が4頭出走。その4頭がほぼ完調で出走(Mジャスパーは?だが)それに女傑ヒシアマゾン。2つ目の条件は、穴を開けるのは実績馬か素質を高く評価されていた馬。(何度も言うようだがあのサンドピアリスは例外、この馬本当に強かったから好きだった)キョウエイタツプはオークスTRを勝っていたし、ホクトベガも重賞に勝っていたし常に上位争いをしていた。タケノベルベットだってスイートピーS、中日杯4才Sで2番人気に押されていたほどの馬。実は今回こんな面白みのない予走をしたのはこの2つ目の条件による部分が多い。パーッとみてごらん、こういう馬、一頭もない。

最後になってしまったが、軸はヒシアマゾン。この馬の華麗な走り、勝負根性はまさにトウカイテイオーのそれ。前走だって地の果てまで走っていく感じだった。400mの距離延長も関係ない。外国産馬が好走していないというが、シンコウラブリーは出ていなかったし、エイシンテネシー、ファンタジースズカあたりとレベルを一緒にしてもらっては困る。心配は鞍上の中舘だけ。まあつかまってるだけで良い。

怖いのはオグリローマンただ一頭。これだけは、来てもおかしくないただ1頭の実績馬である。それ以外の馬は絶対いらない。これら6頭で決まる。

私の愛するアマゾンちゃん。前2走、君は一生懸命走ったのに私が馬券下手のため、当てられなかった。今回こそは逃さないよ。その夜は君のぬいぐるみと一緒にいってみたい…

今週の注目レースは、東西の3歳戦。京成杯3歳Sは前走大差のレコード勝ち、エイシンバーリンに注目。“四国の井崎”氏があのヤマニンパラダイスより上と言っているのだから逆らう手はないだろう。そのほかでは芝での走りっぷりが注目のゴーゴナカヤマ、個人的に素質を高く買っているブイマシンの変わり身に注目。連勝はEバーリンから手広

く流してもおもしろいだろう。西では京都3歳S。大物と見込んでいるナリタキングオーがどんな勝ちっぷりを見せるか。スキーキャプテンも気になる。

予想者 四国の井崎

前回突然挨拶もなく登場して失礼しました。仕事で幹事のTPさんと知り合いになったことから、木馬会会報に寄稿させてもらった四国の競馬狂です。

前回の会報を見せてもらって大変感激しました。皆さんとても個性的で、読んでいて同僚感をもて、大変楽しかったです。私は四国の高松に住んでいますが、今年になってWINS高松が車で10分のところにオープンし、10月からはグリーンチャンネルが受信できるようになって本当に幸せ一杯です。そして木馬会会報に寄稿して皆さんに読んでもらえるのでまた楽しみが増えました。皆さんには関西馬情報をお知らせできればと思っています。

私の競馬歴を紹介しますと、ザオーリュージュン、ニシキエースの8-8 3万円馬券出たダービー卿CTから始まりました。その年の有馬記念でタニノチカラが、ハイセイコー、タケホープを5馬身置き去りにしたのが印象に残っています。これまでで最も好きな馬はトウショウボーイです。あの有名なグリーングラス、シービークインと一緒に走った新馬戦を府中で見たのが自慢の一つです。

さて、先週の菊花賞、期待どおりナリタブライアンが圧勝してくれて嬉しい限り。来年はぜひ凱旋門賞に参戦してもらいたいものです。

今週は相性の非常に良いエリザベス女王杯。余り自慢すると嫌われるのですが、このレースは2年連続の馬連万馬券を的中しております。一昨年は◎タケノベルベットで単、複、連、馬連の完全的中で自己最高の払い戻しを記録しました。しかしながら今年は全く自信がありません。自信があるのは土曜日東京メインのエイシンバーリンです。一応、調教が見れていない段階での私の定量化分析(減点法)ポイント上位と印を示します。

調教を抜きにした現在のポイント上位(減点法)

	↓	
◎ チョウカイキャロル	0.3	ブライアンズタイムのGI連勝だ!
▲ オグリローマン	0.4	自分でも信じられないがこの馬が2番手。一発あるか?
△ アグネスパレード	0.7	調教次第。ビッシリ追っておれば買い
乱! ヒシアマゾン	0.8	絶好調も距離の壁と1番人気の重圧で負ける
○ ゴールデンジャック	0.9	前走3着に好感。本番で走る。
ジョウノバタフライ	0.9	
メモリージャスパー	1.0	
注 エイシンバーモンド	1.1	大穴はこの馬か

私はローテーションを重視しますが、秋2つのトライアルを使ったヒシアマゾンは狙いにくい。走りっぷりと血統から2400mは長すぎる。思い切って消してみようと思います。◎は秋叩き1走のチョウカイキャロルで断然と見ます。ゴールデンジャックは秋2走して

いますが、本番を狙った前走の走りっぷりに好感を持っています。オークスと同じ1、2着で決まらないでしょうか?なお、3年連続を狙ってかなりバラバラと流して買うつもりです。

京成杯3歳S

エイシンバーリンで断然。こいつはフジキセキやヤマニンパラダイスよりも強い!関西の1番馬です。単勝負。

予走者 トウインクルダンディ

エリザベス女王杯

◎…ヒシアマゾン ○…チョウカイキャロル ▲…ヤマニンリコール

△…アグネスパレード、ゴールデンジャック、ジンシリウス

…予走者の屁理屈…

激戦だがやはりHアマゾンを中心視。前走Aパレードに並びかけられてからの走りを見る限り距離延長も心配なさそう。次に怖いのはやはりTキャロル。サファイアSではテンザンユタカに不覚を取ったが、距離延長で父ブライアンズタイムの能力全開とみたい。展開次第だが、2400mでYリコールの追い込みか。他にも実績からAパレード、Gジャックも可能性はあるが、気性、右回りを考えると強調はし辛い。それならば夏の上がり馬ということでJシリウス。前走52kgとはいえサファイアSの時計を0.8秒上回っており、計算からはTキャロルを逆転することも可能だ。私がこんなに馬を挙げることは大変珍しいことですが、これは当然自信がないからです。馬券を買うときは一点か二点なので今回もきっと当たらないでしょう。(一応今のところHアマゾンからTキャロル、Jシリウスにいいと思っています)

予想者 へなりん

エリザベス女王杯

◎…ヒシアマゾン ○…ゴールデンジャック

△…メモリージャスパー

…予想者の屁理屈…

ここで、女傑アマゾンが負けるわけがない。もしも負けるならば中館の騎乗ミスがあった時だけだろう。ここを軽く突破して、有馬でブライアンとの夢の対決に期待したい(かなわないとは思うけど)。相手本線は、人気の盲点ゴールデンジャック。元来叩かれて良くなるタイプだと思うので、3着・3着と続いたトライアルは健闘していると思って間違いない。当然今回はさらに状態UPで、絶好の狙い目だろう。ゴールデンがチョウカイやアグネスよりも先着すると見ている限り、◎-○の1点で勝負だ。ほかに怖いのはメモリージャスパーだけ。これは押さえる必要があるかもしれない。

エリザベス女王杯

◎…ヒシアマゾン ○…ジョウノバタフライ ▲…バースルート

△…アグネスパレード、ジンシリウス、フサイチカツラ、リキサンフラッシュ

…予走者の屁理屈…

荒れるエリザベス女王杯だが、Hアマゾンは実力的に一步も二歩もリードしている。距離も問題なかろう。筆者としては天皇賞のビワ、菊のブライアンより堅い軸馬と見ている。しかし去年もSバレーナ、ベガ、ユキノビジンと実力馬が総じてコケるのをみると一抹の不安はあるが…とはいっても相手探しのレースだ。馬券作戦にあたっては、毎年夏からの上がり馬が連に絡み高配当をもたらしていること、若手ジョッキーが好走していることを忘れてはならない。レースはバースルートの大逃げによるHペースが予想され、これに惑わされて実力馬はこない。ということでHアマゾンの相手は夏の上り馬になる。◎○を○にこの両頭から▲△に少しずつ流すことにする。○からだと超メガトン級万馬券になる。特注はトライアル2戦で人気を下げたRフラッシュと、バースルートの大逃走劇に期待したい。

ラッキー桑島の独り言

◎…チョウカイキャロル

△…ゴールデンジャック

○…ヒシアマゾン

△…アグネスパレード

★▲…オグリローマン

△…メモリージャスパー

注 ★印は単勝バクダンマーク

エリザベス女王杯は毎年荒れるといわれているが、例年、有力馬が休み明け等で調整不足にもかかわらず危険な人気馬に押し出されるためであり、今年のように極の女王が体調十分で出てくれば軸は堅い。早熟のロベルトにMプロスペクター、春先も無理使いされておらず、この秋がピークの状態と見た。オックスの時にも書いたが2週続けてのBタイムも悪くない。相手だが、近年の上位馬を見ると意外にも距離適性にかかわらずHベガ、Nフライト、Mカンムリ、Nフラワー等マイラータイプが食い込んで来ている点に注目し、さらに実力からみてもHアマゾンで堅いであろう。しかし、Cキャロル-Hアマゾンの一点勝負ではオッズ的にはあまり面白くないだろう（5倍ついたら勝負するが）。その他Gジャック、Aパレード、Mジャスパーと手を広げては勝てないし、いろいろ迷った末、今朝のトイレでひらめいたOローマンの単勝勝負に青春を賭けてみる。上記のマイラータイプといい、アイドルホースの近走凡走といい、不安材料によって人気の下がった時の武といい、単穴の条件は全て満たしている。オッズが下がってしまうからあまり公表したくなかったが木馬会の会員には打ち明けてしまった自分がかわいい。とにかく何をしでかすかわからない一族である。月曜日には「やっぱり実力はあるんだな～」という声があちらこちらで聞かれることであろう。（おそらく桑島はこんなことを言っておきながら当日は複勝を買っているだろう）

それにしても菊花賞には感動してしまった。皇帝以来の三冠馬達成の瞬間を見れたこと、残り1ハロンで7馬身ちぎったあきれ程の強さ、ツンツン角田ならではの思い切りの良さ、Nブライアンにマークされながらも執念で勝ちにいった坂井の男らしさ等いろんな意味で感動させてもらった。だが、ここで忘れてはならないのは神様仏様岡部様のことである。Aリアル、Bハヤヒデ、Aダブリンで負けた、そのあなた、「もう2度と岡部なんか買わねえ」なんてバチあたりなことを言っていると必ず神様仏様岡部様の逆襲をくらののである。少し人気が下がった時、そこが勝負である。by 何度も痛い目にあっている男

予想者 ミスターX

エリザベス女王杯

◎…アグネスパレード

○…ヒシアマゾン

▲…オグリローマン

△…チョウカイキャロル

△…ゴールデンジャック

…予想者の屁理屈…

先週も穴狙い中心で馬券を購入したが結果はあの通り。

と言う訳ではないが上記の予想と相成った。ヒシアマゾンを外すかどうか迷ったがあの子が坂路で35秒台のタイムを叩き出している限り連下から外す訳にはいかない。

しかし、本命はアグネスパレード。彼女はきっと夏場をこしてグッと力をつけてきているはずで前走の走りは単なるまぐれではないと思っている。春にこの馬を追って痛い目にあった分をここで一気に回収させて頂くことにした。

オグリローマンは注文がついての単穴だが、淡々としたペースでレースが進み直線勝負になった時には、一発が……！

チョウカイキャロルは牡馬で言えばエアダブリン的存在と思っているしゴールデンジャックは山をこして来ても3着どまりの様な気がする。

そこで上記ではああいう風に記したが、これをうっている間にゴールデンジャックはいらないという結論に達したので、今回は◎、○、▲の3点買いプラス◎、チョウカイの計4点で決めてみました。

でもね、建都1, 200年という言葉がどうしても耳を離れないので7、9、4の3点も忘れずにほんの少しだけ押さえてみます。

先週は真剣に、もうそろそろ足をあらおうかなとおもいました。

誰かお金の掛からない良い趣味をご存じの方はミスターXまでお知らせ下さい。

TEL 03-(3725) 0951まで……。

さて、かねてから企画しておりました飲み会でございますが、各人の予定が合わず、延期することとなりました。で、予定として、12月の19～22日のうちのいずれかの日に有馬記念の検討会を兼ねた忘年会。1月の1週目か2週目に今年の結果報告・反省を兼ねた新年会何ぞを考えていますがいかがでしょうか。

第19回 エリザベス女王杯

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番 号
リキサンフラッシュ	ヤマニンリコール	メモリージャスパイ	メジロアムール	フサイチカツラ	ヒシアマゾン	バースルート	ナイスガルボ	テンザンユタカ	チョウカイキャロル	シーフリージア	ジンシリウス	ジョウノバタフライ	ゴールデンジャック	キタノファンタジー	オグリローマン	エイシンバーモンド	アグネスパレード	馬 名
...	...	△	...	...	◎	▲	...	...	○	...	△	○	△	...	×	...	▲	T P
△	...	...	...	△	◎	...	...	...	...	...	△	○	...	...	...	...	△	覆面
...	...	△	...	...	◎	...	...	...	...	...	...	...	△	...	...	...	△	デスラー
...	▲	△	...	...	○	...	...	...	◎	...	△	...	△	...	★	...	△	へなりん
...	...	...	...	×	◎	...	...	...	○	...	△	△	△	...	...	...	△	ラッキー
...	...	...	...	...	◎	...	...	...	▲	...	...	△	○	...	...	...	△	トウインクルダンディ
...	...	...	...	▲	○	...	...	...	△	...	○	...	△	...	▲	...	△	ジュワイヨクチュール
...	...	...	...	...	△	...	...	...	◎	...	...	...	△	...	...	...	△	ミスター X
...	...	...	...	...	△	...	...	...	◎	...	○	...	▲	...	○	...	△	Y O
...	...	...	...	...	△	...	...	...	◎	...	...	...	○	...	▲	×	△	ナニワのラッキー
...	...	...	...	...	...	...	...	...	◎	...	...	...	○	...	...	...	△	四国の井崎